



2020年12月

聖マリア学園

吉野幼稚園

主 題 : 喜び合う

聖書のことば : 神は その独り子をお与えになったほどに世を愛された



早いもので、今年も12月を迎えました。コロナコロナに、振り回された感のある1年でしたが、今年も残り1か月を切りました。保護者の皆様には、何かとお忙しいことと思います。

幼稚園では、子供たちは、12月12日(土)の「聖劇」に向けて、毎日練習に励んでいます。「聖劇」とは、イエス・キリストの降誕の様子を劇にしたもので、カトリックの幼稚園ではクリスマス恒例の行事となっています。子供たちが演じる「聖劇」、とても楽しみです。ぜひ、保護者の皆様にご来園いただき、ご参観いただきますようお願いいたします。

クリスマスというと、クリスマスケーキやプレゼント、クリスマスパーティなど、子供たちにとって、楽しいことがたくさんありますが、本来はキリスト教の教祖であるイエス・キリストの誕生を祝う儀式です。「クリス」はキリスト、「マス」はミサという意味で、2つ合わせて「キリストのミサ」という意味です。12月24日の夜半や翌日の25日には、世界各地の教会でイエス・キリストの誕生を祝うミサ(クリスマス)が行われます。

さて、カトリック教会においては、クリスマスを迎えるための準備の期間を待降節といいます。クリスマスの準備の期間は、4つ前の日曜日から始まります。教会では、4本のローソクを準備して、日曜日ごとに1本ずつ火を灯し、全てのローソクが灯ったらクリスマスとなります。その間、いろいろな犠牲などをして、心の準備もします。

コロナ禍の下での行事の見直しや縮小など、多大な影響があった2学期でしたが、運動会、芋ほり、焼き芋会、園外保育などの行事がありました。一つ一つの行事が、子供たちにとって幼い頃の楽しい思い出として残ってくれることでしょう。

今年も残り少なくなってまいりましたが、幼稚園の日常の保育活動や行事等への多大なご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。(園長 野田)

#### 今月のねらい

クリスマスの意味を知り 心の準備をしながら 歌の言葉 せりふの言葉を大きな声ではっきりと わかりやすく話し 神様のメッセージを伝える役割を果たす  
イエス様を心に迎えたことを 共に喜びあう